

# 家畜動物を用いたメタファー表現に関する研究序説

一日中の諺・慣用句における「馬」と「牛」を対象に―

東亜大学大学院 総合学術研究科

人間科学専攻

21HD153

韓 琦

## 学位論文要旨

本研究は、家畜動物を用いたメタファー表現を対象に、メタファー表現間にはどのような関係性が見られるのか、及び、メタファー表現の表す意味に偏りが見られるのはなぜかという2点を明らかにすることを目指したものである。

動物のメタファー表現に関する研究は、個々の動物で完結している研究が多い。それに対して、家畜動物というより大きなカテゴリーを設定した上で考察したものは少ない。それゆえに、家畜動物という視点で見た場合におけるメタファー表現間の関係性を巡っては依然として不明な点が多い。

そこで、本研究では、日中の諺・慣用句における「馬」、「牛」のメタファー表現を対象とし、家畜動物というより大きなカテゴリーにおいて、両者のメタファー表現がどのような関係性を持っているのか、日本語と中国語の諺・慣用句における「馬」、「牛」のメタファー表現を比較・対照することを通して、両者の関係性、及び、言語間の異同を明らかにすることを目的とし、分析・考察を行った。

分析・考察の結果、「馬」と「牛」のメタファー表現においては、相対的な意味を表す場合において、馬と牛が対立関係を成すことが日本語においても中国語においても見られる現象であることを実証した。また、日中の「馬」と「牛」のメタファー表現においては、馬と牛が対立関係を成すことによって成立している諺・慣用句の表す意味は、考察の範囲では相対的な意味を表す場合であることを示した。それに加えて、馬や牛への対立対象として設定される動物については、日本語と中国語では一致する部分もあれば、一致しない部分もあることを示した。

この結果から、メタファー表現によって表される意味的特徴に偏りが見られることには、今回のような二つの対象における対立関係が前提となっていることが一つの要因として関わっていることが示唆されることを示した。また、相対的な意味を表す場合において、二つ以上の対象が対立関係を成すという事実は、メタファー研究において、根源領域に設定されるものはどういったものであるのか、という問いを投げかけるに至った点において、新たな知見を提供した。